

学校だより

第10号

令和元年 12月20日 発行
京都府立向日が丘支援学校
京都府長岡京市井ノ内朝日寺 11
Tel 075-951-8361 Fax 075-951-8362
<http://www.kyoto-be.ne.jp/mukougaoka-s/cms>



2学期を終えて

夏の名残の中に始まった2学期でしたが、いつしか季節も巡り、本日で2学期の教育活動を全て終了することとなりました。

保護者の皆さま、そして地域社会の皆さまには、今学期もたくさんの温かい励ましをいただき、本当にありがとうございました。心から感謝を申し上げます。

この2学期を振り返ると、たくさんの心躍る場面が思い出されます。子どもたちは、たくさんの人や場所と出会い、その出会いの中で力一杯自分らしい挑戦を繰り返し、そしてその経験を糧に多くの子どもたちが成長の実感を手に入れてきました。そのことを文科省研究指定に係る「研究報告会」、2回目となる「むこうがおかフェスタ」では、多くの人たちと共有し、そして喜びとすることができました。

次の文章は、いつも大変にお世話になっている「長岡京市環境の都づくり会議」の渡辺節郎様が、「環境の都づくりニュース」に「むこうがおかフェスタ」に参加されたときのことを執筆されたものです。お許しを得て引用させていただきます。

(中略) 7日の午後からは「文部科学省研究指定に関わる研究報告会」が開催されました。地域社会との連携協働の下で創造する「喜びをともにする授業」~多様性は可能性~をテーマに発表がありました。その中で強調された言葉は社会貢献でした。学校と地域が一体になって障害がある、障害がないにかかわらず人間として共に助け合うことが共生社会です。私達は3年間竹で、他の多くの団体と共に関わってきました。発表の中でも教育的な効果は大きいと感謝の言葉を頂きました。たかが竹ですがされど竹です。その竹のお蔭で子供達と喜びや楽しみを共有してきました。これからも子供達に元気をもたらしながら社会貢献出来るように頑張っていきます。

この素晴らしい文章から何よりも感じるのは、本校の子どもたちと地域社会の方々とのつながることから生まれたお互いの喜びや楽しみ、そして相互に貢献し合う人と人の在り方です。そこには、必ず子どもたちが普通の授業の中で積み上げてきた力を精一杯発揮する姿があります。

2学期のたくさんの出会いに心から感謝し、これからも私たちは、一人一人の子どもたちが、この地域社会の中でたくさんの人と、ともに幸せに生きる力を育むことを目指します。
ありがとうございました。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

京都府立向日が丘支援学校 校長 平岡 克也